

地震災害に備えましょう

閑危機管理課(2335) 4790

4月、熊本県で震度7を2回観測する地震が発生。その後、近隣地域でも断続的な地震が続き、被害は広がりました。災害はいつどのような形で発生するのか分かりません。被害を最小限に食い止めるためには、一人一人の備えが大切です。ここでは地震災害に備え、家庭などで取り組める主な対策を紹介します。

備え、家庭などで取り組める主な対策を紹介します。ここでは地震災害に備え、家庭などで取り組める主な対策を紹介します。

連絡方法や避難所を確認しておきましょう

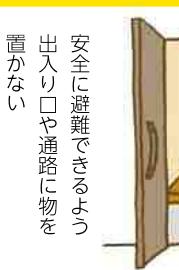
家族との連絡方法や集合場所、避難所などを確認しておきましょう。

- 防災ガイドブック／防災マップ／洪水・内水ハザードマップ／土砂災害ハザードマップ
- 防災行政無線や緊急情報をお知らせ。通信料無料、有償頒布のラジオ。
- 防災ラジオ
- スマートフォンなどから無料でダウンロードできるアプリケーション。防災マップや、災害時の心得などを掲載しています。

情報を確認しておきましょう

- えびなメールサービス
- 事前に登録している方に情報をメール配信。
- 登録希望の方はebina@mpx.wagnap.jpに空メールを送信してください。詳細は→[推進課\(2335-4790\)へ](#)。

家具の中の安全対策と家具の置き方を工夫しましょう



非常持ち出し品・備蓄品を用意しましよう

避難場所で生活することも想定し、非常時に持ち出すものを持ちましょう。



震度5弱以上の時は安否確認フラッグで知らせて

安否確認フラッグは、救助隊や近隣住民に家の住人の無事を知らせるもので、震度5弱以上の地震発生後、家の住人全員の無事を確認した場合、各家ごとに玄関のドアノブなどに掲出します。

海老名市から応急危険度判定士を派遣

大きな被害を受けた熊本県に、市から応急危険度判定士を派遣しました。応急危険度判定士は被災した建物を調査し、余震で建物の倒壊や外壁・窓ガラスの落下などの危険性がないかなどを判定する専門職です。



▲家屋の傾きを測定

熊本地震義援金を受け付けています

皆さんからお寄せいただいた義援金は、日本赤十字社を通じて全額を被災地熊本県へ送ります。ご協力をお願いします。

募金箱設置場所

市役所・保健相談センター・中央図書館・有馬図書館・えびな市民活動



センター・ビナレッジ・海老名運動公園総合体育館・北部公園体育館